

83号線ブロック 第34回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成28年12月20日(火) 午後7時～8時40分
開催場所	十条台ふれあい館 第1ホール
出席者	部会役員：喜多村部会長、原副部会長 事務局：岩本課長、千明、國保、星野、遠藤(北区十条まちづくり担当課) コンサルタント：立野(株)都市計画同人
参加者	24名(部会役員を除く)
議題等	<p>1. 議題</p> <p>(1) 埼京線沿線(中十条二・三丁目)のまちづくりについて</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 補助83号線整備事業の進捗状況について</p> <p>(2) JR赤羽線(十条駅付近)連続立体交差化計画および関連する道路計画の都市計画案の周知について</p>  <p>第34回83号線ブロック部会の様子</p>

【議事要旨】

はじめに

【部会長】第34回83号線ブロック部会を開会いたします。

本日は、埼京線沿線（中十条二・三丁目）のまちづくりに関する意見交換のほか、2点の報告事項を予定しています。

1. 議題～(1)埼京線沿線（中十条二・三丁目）のまちづくりについて

配布資料及びスライドをもとに、コンサルタントより、平成26年11月実施の中十条三丁目地区のまちづくりに関するアンケート調査結果、十条地区における地区計画の策定状況などを通し、埼京線沿線にも地区計画を導入したまちづくりを進める必要があるとの説明がありました。

<意見交換>

【参加者】壁面後退区域の道路は全て幅員6mとなるのか。

【コンサル】主要生活道路のうち、特定の道路だけとしています。

【北区】地区計画で言っている壁面後退は、建替えの時に建物や工作物を下げていただくもので、事例として、補助83号線周辺南及び北地区における主要生活道路について、ご説明しているものです。具体的に申し上げますと、演芸場の西側の道路について、演芸場通りから北側のフジサンロードまでの区間について、壁面後退をかけているところです。

【参加者】これは既に決定したものか。

【北区】補助83号線周辺南及び北地区地区計画は、既に都市計画決定しています。

【参加者】アンケート結果で着色しているが、何か意味があるのか。

【コンサル】基本的には、意見が多かったものから、色合いを変えて着色しています。

【参加者】アンケートの作成にあたっては、作成する段階から、住民の意見を入れた方が良いと思う。

【参加者】埼京線沿線のまちづくりと言われているが、中十条三丁目のアンケート調査の結果であったり、説明が前後する等、意図が図りづらい。ましてや、中十条三丁目のアンケート結果となると、中十条一・二丁目は関係ない問題となる。もっと明確な説明を行ってほしい。

2. 報告事項～(1)補助83号線整備事業の進捗状況について

東京都より、83号線整備の進捗状況について説明がありました。

十条台小学校から荒川小学校までのI期区間の平成27年度末時点の用地取得率は約96%です。

用地取得後、埋蔵文化財の調査を進めており、平成27年度末までの調査実施率は約67%です。

事業期間は、4年間延伸して、平成31年度を完成予定としています。

埋蔵文化財調査が済んだ区間から出来るだけ早く仮設の歩道を設ける予定です。

富士塚の再建計画については、富士講の皆様との話し合いを通して検討を続けている状況です。

幅員20m区間の標準断面としては、車道は片側一車線で幅7m、両側に歩道と自転車道を合わせてそ

れぞれ幅 6.5mとなっています。歩道と自転車道の間には植栽帯を設けて分離します。ただし、右折車線を設ける個所では歩道と自転車道の分離ができない個所もあります。

工事としては、下水道局において下水道の幹線工事に着手しています。

Ⅱ期区間の事業期間は平成 26 年度から 32 年度の予定となっており、平成 27 年 3 月に事業認可を受け、同年 5 月に用地説明会を開催し、120 名の方々にご参加頂きました。

平成 27 年度には、権利者の個別訪問を行い、個別の物件調査を実施し、補償金の算定を行っています。

今年度、数件の契約が行なわれており、解体工事が始まる予定となっています。

Ⅱ期期間についても、埋蔵文化財調査を数カ所に分けて実施する予定です。

<意見交換>

【参加者】 補助 8 3 号線の中十条一丁目と二丁目区間で、工事が進んでいるが、まだ手つかずのままのものが残っている。こうした建物は、どうなっているのかを教えてください。

【東京都】 I 期区間でまだ数件残っていますが、個々の権利者の方々の移転時期の調整を行っているところであり、反対で話しもできない状況などではなく、先々の移転時期を踏まえて話を行っているところです。

【参加者】 速やかに解決するように、ご努力願いたい。I 期区間部分の舗装整備等は、全ての用地取得等が終わらなければ始めないのか。

【東京都】 I 期区間については、平成 31 年度までの事業期間となっており、それまでにⅡ期区間とは分離して整備を進めていく予定です。

【参加者】 Ⅱ期区間について、幅員 30m部分の横断図は、いつ頃できるのか。環七との交差部分は計画通りに地下にするのか。交差部分の横断図はいつ頃提示するのか。

【東京都】 横断図についてはまだ作成しておりません。道路管理者や警察との協議を行ないながら作成するため現時点では作成していません。Ⅱ期区間の進捗状況に応じて作成し提示いたしますのでもう少しお待ちください。

現時点では立体交差となるまでは決まっているものの、掘割にするなどの点までは決まっています。立体交差にするにしても、環七の北側の整備が行なわれなければ立体交差を進めることはできません。環七北側の整備が行なわれる時点で立体化への対応を図ることになります。

【参加者】 配布資料については、植栽は小さなものである上、電線の地中化とするのか否かの情報も入っておらず、誤解を招きかねない。もう少し具体的なイメージや情報を網羅して記載してもらいたい。部会で出てくる質問事項を予想し、回答できる準備をしておいてもらいたい。

【東京都】 配布した資料並びにスライドの横断図などは、標準的なもので、具体的なイメージを持ちづらいものであったことをお詫び申し上げます。

【参加者】 道路整備を進める中であって、代替地での対応や公営住宅への住み替えなどはどのようになっているのか。調査を行っているのであれば現状を教えてください。

【東京都】 I 期区間では約 100 件の方と契約しておりますが、詳細な集計は出来ていません。道路整備を進めていく中で、契約を締結するにあたっては、移転先の問題が解決しなければ契約は進みません。これまでのところ、東京都や北区が所有する土地を代替地とした事例はありませんでしたが、一般の不動産会社や宅建業会などを回って不動産の情報を紹介し対応を進めるケースが多い状況です。

(2) J R 赤羽線（十条駅付近）連続立体交差化計画および関連する道路計画の都市計画案の周知について

北区より、J R 赤羽線の鉄道附属街路について説明がありました。

配布資料の平面図は、正確なものでないため、今後現地測量を行って、正確な図面を作成していきたいとのことでした。

＜意見交換＞

【参加者】他のブロック部会で、地下化に反対しているのかとの質問に対して、鉄道立体化を早期に実現を求める声が多く、高架化が良いとか地下化が良いとかの要望書は受け取っていないとの話があった。昭和 58 年に、区議会では地下化との方針で決議しており、その点についてはどうなのか。早期実現を目指すとのことであれば、岩槻街道の整備などを考えると、側道整備を進めていくのは、早期整備とはなりがたいのではないか。

【北区】北区議会の本会議で区長並びに部長が答弁しているように、区は東京都の検討結果を尊重する立場であり、東京都に地下化を要望する考えはありません。平成 28 年 10 月に、J R 赤羽線（十条駅付近）連続立体交差化計画および関連する道路計画の都市計画案に関する公告・縦覧、意見書の提出を締め切ったところです。今後は、この見解をまとめ、東京都の鉄道立体化、鉄道附属街路、補助 85 号線の計画について、現在、進めている鉄道立体化の環境アセスメント手続きを終えて、来年度には、鉄道立体化と補助 85 号線は東京都が、鉄道附属街路については北区が、都市計画審議会に諮って、都市計画決定の手続きを進める予定となります。高架案に基づいて、進めている状況です。

【参加者】高架は決定されていないと考えてよいのか。東京都のパンフレットには、高架のものしかないが、おかしいのではないか。区長も、東京都に返答する以前に、地元地権者に説明を行うべきだと思う。震災が発生した際に、高架にすると危険性が増すのではないか。

【北区】区長及び北区議会議長から、立体交差化の早期実現として、東京都に要望いたしました。区としては、鉄道立体化の事業主体並びに決定権限も東京都にあるので、構造形式云々については、触れていません。構造形式に関する過去の経緯もありますが、北区議会では、適切な構造形式により早期実現を図るものとして、新たに決議しています。そのため、改めてこの問題に関する区長からの答弁はありません。現在、進められようとしている環境アセスメントや都市計画の手続きは、高架化を前提とするものです。

高架化に関する安全面については、J R 東日本の方から、最大限の安全性を確保するとし、今後、最新のデータに基づいて、構造設計を行うと説明がありました。

鉄道附属街路については、電柱の地中化を前提としています。

【参加者】埼京線の線路上の電柱とは、架線のことを申し上げたものである。構造設計いかににかかわらず、震災が発生したら、どのようなことが起こるか分からない。

【北区】人命尊重に関するご意見は承りました。

最後に

【副部長】色々なご意見やご質問、ありがとうございました。これで閉会といたします。

今後も、皆さんとまちづくりについて話し合っていきたいと思います。

北区や東京都には、引き続き情報提供をお願いします。

次回のブロック部会は、来年の3月頃に開きたいと思います。